

廃棄物対策審議会議事録

会議名	令和6年度第4回流山市廃棄物対策審議会
日時	令和7年3月19日(水) 13時30分～16時00分
場所	クリーンセンター リサイクルプラザ・プラザ館2階 研修室3
出席委員	稲葉委員、高橋委員、杉村委員、羽田野委員、和田委員、濱野委員、鈴木(馨)委員、大谷委員、關委員、鈴木(博)委員
欠席委員	中村委員、郡司委員、橋本委員
会長	稲葉委員
事務局	伊原環境部長、平野クリーンセンター所長、石田副所長、富樫副所長、千葉収集・リサイクル係長、横井管理計画係長、鈴木主査、西山主任主事、濱田主事、宮越事務員
傍聴人	1名
議題	1) 流山市一般廃棄物処理基本計画見直しについて 2) その他
配付資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次第</li> <li>・席次表</li> <li>・資料1 個別施策(ごみ処理基本計画編)</li> <li>・資料2 数値目標(ごみ処理基本計画編)</li> <li>・資料3 目標と取組(食品ロス削減推進計画編)</li> <li>・資料4 強靱化対策</li> <li>・参考資料1 基本計画 今後の進め方(予定)</li> </ul>
議事要旨	別紙のとおり

議事要旨

	<p>・開会（13時30分）</p> <p>・議題</p> <p>1 会長挨拶</p> <p>2 流山市一般廃棄物処理基本計画見直しについて</p> <p>3 その他</p> <p>4 閉会（15時30分）</p>
<p>富樫副所長</p>	<p>定刻となりましたので、ただいまから令和6年度「第4回流山市廃棄物対策審議会」を開会いたします。</p> <p>司会進行を務めさせていただきます、クリーンセンター副所長の富樫と申します。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>本日は傍聴される方がいらっしゃいますので、傍聴にあたっての注意事項を申し上げます。</p> <p>まず、傍聴される方は「流山市審議会等の委員の選任及び会議の公開等に関する指針第10条」に基づき、発言や拍手等はできませんので静穏に傍聴してください。</p> <p>また、撮影や録音等もできませんのでご注意ください。</p> <p>これに従わない場合には退席をお願いすることになりますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>次に、本日の資料について確認させていただきます。</p> <p>～配布資料確認～</p> <p>それでは、開会に当たりまして、稲葉会長より一言御挨拶を申し上げます。</p>
<p>稲葉会長</p>	<p>～会長挨拶～</p>
<p>富樫副所長</p>	<p>それでは、これより本日の議事に入ります。</p> <p>ここからの進行は稲葉会長にお願いします。</p>
<p>稲葉会長</p>	<p>本日の出席委員は10名です。</p> <p>従いまして、「流山市廃棄物の減量及び適正処理等に関する規則」第4条第2項の規定に基づき、定足数に達しておりますので、会議が成立していることをご報告申し上げます。</p> <p>それでは、議事に入りますが、まず議題の1「一般廃棄物処理計画の見直しについて」事務局より説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>～事務局説明～（資料1）</p>
<p>高橋委員</p>	<p>1ページ施策5の最初の項目「必要な指導を行います。」の部分を「指導・助言を行います。」に変更してはどうか。また、5ページの施策15の4つ目の項目、「他課」の部分を「関係部署」に変更してはどうか。</p> <p>施策16について、周辺住民に稼働の影響について定期的に公表していると思うので、「稼働による周辺環境の情報について定期的に公表します」や「定期的に発信します」のような内容を新しく入れてはどうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>施策5、施策15は修正を検討します。</p> <p>施策16については、近い表現で施策23に入っていますが、目的が違うため、追加については検討していきます。</p>
<p>和田委員</p>	<p>各項目が何番目の「・」かが分かりづらいので番号を入れてはどうか。1-1や1-2にした方が良いように思う。</p>

事務局	現行計画では（１）や（２）のように括弧でくくっているのですが、現在は計画見直しの段階のため、項目が前後することがあります。現在は「・」としていますが、今後見やすさ重視で策定していきますので、ご意見は参考にさせていただきます。
高橋委員	前回の審議会で、ブレインストーミングを行った内容が個別施策の４と８にあるが、今後、ブレインストーミングの実施結果をどのように扱うのか聞きたい。本日の資料では、各委員の意見を載せている状況である。表現が統一されていないところがあるので、生の意見としてはこのままで良いと思うが、外部発信するようであれば表現を統一する必要があると思う。
事務局	今回はご意見をいただいた皆様への資料ですので、このような形としていますが、いただいた意見はアンケートと同じように、表現はなるべくそのまま使っていきたいと考えております。ただし、意味が変わってきてしまうものについては表現の統一をしたいと考えております。資料編に入れるかどうかは検討させていただきます。
和田委員	ブレインストーミングの資料で、表現の仕方を注意しながら使わないといけないところがある。要約されて書いたために、本人が書いたものとは違うところに分類されているものもある。
高橋委員	「外国人」に関する意見のものは、外国人にも分別を守ってもらおうというものかと思うが、ここでは生の意見としてはこうでしたと言うものとして取り扱って、外部に発信する際には気を付けた方が良いのではと感じている。
稲葉会長	事務局の判断で修正すると、ご本人の思った意味合いと変わってきてしまう可能性もあるので、審議会の中ではなく、ご本人にメールや電話、書面で了承をいただくような手順ではどうか。
事務局	今後、パブリックコメントを実施するので、どこかで意見をまとめる必要があります。以前、アンケートの際はメール等でご意見をいただいていたことがあったかと思えます。 ブレインストーミングの内容についても、本編と直接的な関係はなく、あくまで委員からのご意見という扱いになります。「こういう形でまとめたいのですがいかがでしょうか。」というのはこの場でなくてもできることですので、メールのやりとりにより、文章でご確認いただこうかと思えます。ブレインストーミングの結果の取扱いについては、検討させていただきます。アンケートと同じように、計画を作るにあたって参考にした資料として残していければと思いますので、ご協力ください。
稲葉会長	ブレインストーミングの資料を計画に使うのであれば、この資料は何かなどがわかるように説明があるとわかりやすい。 ご意見の文言や番号なども併せて、表現、用語で統一するなど、定義に基づき必要に応じて修正するようお願いしたい。
事務局	～事務局説明～（資料２）
鈴木（馨）委員	事業系ごみについて、新たな物流倉庫が計画されているなど、事業者が今後増えてくると思う。事業者数が増えると、目標値に合わないのではないかと。また、最終処分率については令和 11 年度の方が高くなっているがなぜか。
事務局	事業系ごみについて、これまで既存の物流倉庫ができてきた中で、実績として、その影響で顕著にごみが増えたということはありません。事業者数が増え

	<p>ても多量排出事業者には計画の提出をしていただいています。</p> <p>物流施設に限らず病院や介護施設など事業所ができたとなればごみの排出量は変わってくるかと思えます。そこについては、特に物流倉庫だからといって反映しているわけではなく、事業系ごみ全体の排出量の実績の推移などを含めて作成しています。</p> <p>また、最終処分率については、切り上げ切り捨ての関係により、焼却量に対してどれだけ最終処分となったかというものなので、意図したものではありません。</p>
稲葉会長	<p>発生量の予測結果（A3）について、例えば生活系ごみ、事業系ごみの大きなカテゴリは予測式で推計していると思うが、内訳の割合は一定としているのか。</p>
事務局	<p>内訳については、割合を固定しています。</p>
羽田野副会長	<p>表2-7で、数値のみを見るとそうかと思うが、単純予測と比較して見ると生活系ごみと事業系ごみは単純推計から少なくなっている。一方で、集団回収は増えてくる予測としている。その違いは個別施策からきているものだとは思いますが、その部分をうまく表現できないか。</p> <p>ここがポイントだという表現や、こういう理由で集団回収を増やしているというような記述があっても良いのではないか。</p>
事務局	<p>本日の資料の12ページに単純予測ではこうなるので、そうならないために個別施策を実施しますといった内容を記載しています。</p>
關委員	<p>ごみ発生量の予測結果だが、日量で書かれているところは365日か。</p>
事務局	<p>365日または366日で計算しています。</p>
和田委員	<p>1人1日当たりの排出量を意識するのは市民で、国に示していくのは年間排出量と考えて良いのか。</p>
事務局	<p>どの目線から何を話すかによって変わってくるかと思いますが、数字を達成するために個別施策があります。和田委員のご質問に対して、市としては「これくらいの排出量にしていきたいのでご協力お願いします」というための目標数値、中間目標年度を設けています。燃やすごみとして排出するのか、資源化できるプラスチックなどの資源物として排出するのか、全体的な排出量は同じかもしれませんが、行先が変わるだけで見え方が変わるというのを見てもらえればと思っています。</p> <p>個別に係数をかけてこうなったというのではなく、いろいろなものが複合的に重なることで目標を達成したいと考えています。多面的なもので作成しているので、数字を見ていくとわかりにくいこともあると思いますが、ご理解いただきたいと思っています。</p>
和田委員	<p>先ほど説明のあった、13ページの「燃やすごみ（直接資源化量）」と「燃やすごみ」とはどう違うのか。ペットボトルも本来はごみではない。家電4品目や剪定枝も資源となるのではないか。その辺が混ざっていると思う。</p>
事務局	<p>言葉の定義として、流山市では「容器包装プラスチック」は「資源物」と定義しています。「資源物」として、搬入されてきてはいますが、施設内で分別し、資源化できるものは資源化され、資源化に向かないものはやむなくごみにしているものもあります。「容器包装プラスチック」は「資源物」として定義しているため、あえて分けて記載しています。</p>

	<p>表現について、ごみ処理量は排出量を合算して算出しています。家電4品目、剪定枝は、堆肥化等の資源となりますが、排出段階の定義としては流山市では「ごみ」と定義しています。また、「燃やすごみ（直接資源化量）」は流山市のごみ分別区分としては表に出てきていないものではありませんが、クリーンセンターに直接搬入された燃やすごみのうち、古紙などを職員が手作業で分けて資源化しているものです。燃やすごみとして施設に搬入されていますが、資源化しているものが「燃やすごみ（直接資源化量）」です。</p> <p>ただし、「ごみ」として施設に搬入された量であり、持ち込まれた段階では、発生量と見なしています。最終的に資源化はしていますが、市民からのごみの発生量として計上しています。</p>
事務局	～事務局説明～（資料3）
和田委員	図3-1の赤い矢印が下向きになっているのが分かりづらい。目標がグラフの上の方に向かって変なグラフだなと思って見ていた。目標がなぜ実績より大きい値なのか。
高橋委員	事業系の食品ロス量が減ったのはコロナの影響かと思う。2021年2022年の実績は特殊な状況だと理解している。
事務局	<p>出典なので、実績は推測でしかありません。高橋委員のおっしゃったとおり、事業系の食品ロスが少なくなっているのをおそらく新型コロナウイルスの影響があると思います。</p> <p>目標数値について、以前の資料で提示していたものは2000年度から矢印が引かれていましたが、2030年度の目標は国の目標策定時の目標であり、現在も変わっていません。しかし、新型コロナウイルスの影響もあったことから目標数値を達成したとは断言できないと考えています。2022年度の472万トンから真横に引かれているので、今の値を維持しましょうという表現ともとれるかと思っています。</p> <p>流山市の目標としては、国の目標年度に合わせて2030年を中間目標年度としていますが、傾きを維持しながら半減に向けて、5年間で6.7%削減することを目標としています。1ページの図は法の概要、国の動きです。国の実績がどうであるから、流山市はこうなりますというものではありません。</p>
和田委員	国としての目標は、2030年度以降はないのか。市としてもないのか。
事務局	国の目標年度が、ちょうど本市の計画の中間目標年度で見直しの年度になります。
事務局	～事務局説明～（資料4）
鈴木（馨）委員	2ページにパターンAからパターンDとあるが、費用はどれくらいを見込んでいるのか。
事務局	具体的な金額は設計していないので、あくまでここはどうすればこの施設を守れるかを検討するためのたたき台としています。
鈴木（博）委員	これまで、施設に被害があったことはあるのか。
事務局	浸水被害があったことはありません。
鈴木（馨）委員	前回の審議会でも、仮置場はクリーンセンターしか考えていないとのことであったが、早急にクリーンセンター以外の場所も確定した方が良いのではと思っている。

事務局	クリーンセンター以外にも森のまちエコセンターを仮置場として見込んでいます。議会でも仮置場に関して議論があったため、今後も詰めていく必要があると思っています。
和田委員	国からの補助はあるのか。
事務局	補助についても検討していく必要があると思っています。施設整備の補助金があり、それに合わせて計画を策定する必要がありますが、補助金をもらうには費用対効果も含めて検討していく必要があります。補助金を活用するための条件もあるので、確認しながら進めていきたいと思っています。
和田委員	いつまでにパターンAからパターンDを決めないといけないなどはあるのか。
事務局	災害計画に強靱化計画を記載していきます。ただし、この審議会内でどのパターンにするか、いつまでに決めるかというものはありません。
事務局	～事務局説明～（その他について）
和田委員	ごみの減量化、半量にするということはこういうことかというのを示すのが効果的ではないか。（持参の食品ロス削減アイテムを示す）
鈴木（馨）委員	広報などに載せてみても良いのではないか。
羽田野副会長	市民まつり等のイベントがあると思うが、発表の場はあるのか。
鈴木（馨）委員	そういう場があるのであれば、現在、マイ箸を使って、割り箸を削減したいといった内容呼びかけてはどうか。クリーンセンターから発信して、割り箸の減少を実現したいと考えている。
濱野委員	資料1の施策5事業系ごみの減量について、必要な指導・助言は公的な効力はあるのか。行政指導になるのか。不適切な排出を行っている者に対して、指導と助言で済むとは思えないので、行政指導というものをしないと反省しないのではないかと思うがどうか。
事務局	行政指導にあたるような事実該当する場合は、行政指導として対応いたします。助言という文言を追記しますが、分別が上手くいっていないなど状況によって行政指導に当たらない場合もあるため、表現については検討いたします。
濱野委員	プラザ館の活用について、市民まつり等の活動でごみ減量を紹介してはどうかということについて、「プラザ館の活用」に民間団体の支援のため、積極的に自転車や家具以外にも支援する項目は何かあるか。
事務局	工芸室等を貸して、リサイクル活動を行っている団体の活動支援を行っています。また、募集もしています。
濱野委員	シルバーで自転車と家具の再生を行っている。例えば幼児用の自転車は、2、3年しか使わないが高額であるのに、幼児用の自転車は再生を受け入れてもらえず廃棄になる。幼児用の自転車をやらせてほしいと頼んだら断られたと聞いている。 おもちゃ病院でやるのも良いと思うが、今後行っていくのはいかがか。おもちゃの廃品回収、リサイクルとしておもちゃを受け取っている。回収し、修理して、各児童館に提供しているが、市民もそういうものが欲しいのではと思うので、その場を設けてほしい。プラザ館の活動に検討事項として含めたい。

事務局	濱野委員の提案については、計画のお話とは異なるので別途ご相談させていただければと思います。
高橋委員	資料3の1ページ目の図だが、時期によって、違うデータが更新されると思う。前回、今回の審議会で指摘があったが、今後もこの図が変わってくる。あえてこの図はここに入れなくても良いのではと思う。上の4行で十分ではないか。
事務局	おっしゃるとおり年ごとに更新される図でもあり、実績を追っているだけの図で、審議会の中で矢印の話をする事は本旨ではありません。パブリックコメントを実施する前に計画を通してお示しする機会があるので、改めて意見をいただければと思います
富樫副所長	<p>以上をもちまして、令和6年度「第4回流山市廃棄物対策審議会」を閉会いたします。</p> <p>次回の審議会は、引き続き「流山市一般廃棄物処理基本計画の見直し」についてご審議いただきますが、5月頃を予定しております。</p> <p>日程が決まり次第、改めまして、ご通知いたしますので、よろしくお願い申し上げます。</p> <p>以上で審議회를終了します。本日は、ありがとうございました。</p>